

---

# 闇夜に笑う狂イ神

皇帝の宿命

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

闇夜に笑う狂イ神

### 【Nコード】

N5966F

### 【作者名】

皇帝の宿命

### 【あらすじ】

狂気の神が作り出し…望んだ世界とは…………

**（前書き）**

気分が悪くなったり、萎えたりしたらごめんなさい。

笑え、笑え、笑え。

闇夜に笑え、狂った神よ…狂気に満ちた神よ、狂い笑え。

その狂喜を持ち、戦に挑め。

その兇器で、人を斬れ。

その狂気で、誰かを愛せよ。

その狂気こそ、我々が望むモノ…腐り過ぎたこの世界に最も必要なモノだ。

笑え、笑え、笑え…狂気の名の元に狂喜の狂神よ。

さあ…笑え！！

ここでは、死が現実化し飛び合う場所。

誰が死んでもおかしくない、文句は言えない。

さあ、死ね死ね死ね死ね。

殺し合え！！

我は楽しいぞ、その狂気が実に楽しい！！！！

我は貴様らの死を望む、貴様らが殺し合うのも望むぞ！

ほらほら、殺さないで殺されるぞ。

さあ、殺せ！！

皆殺し合ええー！！

キヤハハハハ、アツハハハハハハ、A H h h h h！！

狂気にとり憑かれし神は、狂喜の果ての死を望む。

その神を崇める者達も狂喜の果ての死を望んだ。

誰もが、狂った世界で幸せはあるのだろうか？

きっと、狂気こそが幸せなのだろう…狂気。

誰もが持つもので、最悪で最高のモノだ…ああ…狂気はいい。

狂喜を見る度に私の心は潤し、癒すのだ。

様々な狂気がある。

戦いの中の狂気。

愛ゆえの狂喜。

怒りへの狂気。

欲望の狂喜。

すべてが愛しい、愛してるぞ…その狂気を。

狂ってくれよ…私の為に…さ、心を癒し潤す為に狂ってくれよ神様。

クッククク……………ハッハハハ、アッハハハハハハ！！

その腸を引き裂き、我々の神に捧げよ！

赤子を殺し、我々の神に捧げよ！

親を友を殺し、神に捧げよ！

愛しきモノを食いちぎり、神に捧げよ！

その狂気を我々の神『狂イ神』様に捧げたまえー！！

我々の神は狂喜がお好きだ、さあ…同志達よ！！

我々の『狂イ神』様のために狂おうではないか！！

皆死を恐れるな！

畏れるモノはない、何故なら…我々は狂っておるのだからな！！

さあ…突撃いー！！！！

20XX年…ある宗教団体が各国でクーデターを起こした。  
これにより、死者が何億人と人類史上最悪なクーデターとなったが、  
今だに死者を出し続けている。

私は取材のためにカメラマンと共に軍の基地に行き、彼ら…宗教団  
体を殲滅に向かった部隊の生き残りの軍曹は顔を青ざめながら語っ  
た。

奴等は普通じゃない…く、くる、狂っている。

と語り、ショルダーから小型拳銃を取り出して、口の中に突っ込み  
…引き金を弾いた。

私の前で死んだ、それを引き金に周りにいた兵士達は次々と自害し  
た…そして一緒にきたカメラマンも墜ちていた銃で頭を打ち抜いた。

さて…私も死ぬか……

レポーターは、手榴弾を口の中に入れて…ピンを抜いた。

…完…

（後書き）

相当心が病んでいる時に思い付きで考えてしまいました。ごめんなさい。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5966f/>

---

闇夜に笑う狂イ神

2010年11月24日16時15分発行